

カリフォルニア州立大学フレスコ

DR. MAUL 武蔵野東学園を見学

4月17日(火) Maul 先生(カリフォルニア州立大学フレスコの准教授)は、小学校と教育センターの見学をされました。教育者の立場からいろいろな学校を訪問してきたが、まず自閉症の子どもたちの表情がいきいきしていることに驚いたとおっしゃっていました。ABAの学校では、子どもたちが楽しんでいるように見えないとも言っておられました。

(以下は Dr. Maul から見学後に届いたお礼のメールの一部です。)

I want to again express my appreciation to you for taking time from your busy schedule to give me a tour of your excellent program and facility. The children looked very happy and content to be there, and I know it is because of the kindness of your staff and the consistent structure you provide them with. I am looking forward to future correspondence with you!

<メールの訳>

「お忙しいところ、時間をかけて素晴らしいプログラムと施設を見せてくださってありがとうございました。

子どもたちはとても幸せそうで、満足している様子でした。それは、先生方の親切さと子どもたちに常に分かりやすい環境(構造)を提供していただけるからだと思います。今後ともおつきあいできればと存じます。」

武蔵野東教育センター